

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	鶴見区
学 校 名	大阪市立茨田南小学校
学校長名	宇野 多加志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立茨田南小学校では、第6学年 92名

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の全国学力・学習状況調査の本校の平均正答率は、国語科においては大阪市平均と同ポイント、全国平均との差は－1.7ポイントであった。内容別に見ると「言葉の特徴や使い方に関する事項」では大阪市平均や全国平均を上回るポイントをあげている。また課題として取り組んできた「話すこと・聞くこと」においても全国平均や大阪市平均を上回った。成果をあげていると言える。算数科においては大阪市平均を5ポイント下回る結果となった。内容別では、「数と計算」「変化と関係」に関しては全国との差は比較的小さく、全国平均の正答率を上回る設問もみられた。無回答率は、国語科においては逆に全国平均を1.7ポイント下回り、算数科においても全国平均を0.3ポイント下回った。調査に対する意欲的な姿勢がうかがえる結果であった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕平成元年度より研究主題を「主体的・対話的で深い学びの推進」に設定し学習活動に取り組んできたこともあり、平成元年の調査では成果が表れてきていたが、平成2年からのコロナ禍により、臨時休校や学習活動に制限がかかったこともあり、対話的な学びの推進を充分にははかれなかった。元年度調査よりポイントを下げた結果となったことも踏まえ、漢字等の言語に関するところを課題とし、また継続して主体的な学びを推進していかなければならない。

〔算数〕算数科で習熟度別少人数学習やT Tでの学習を推進しているが、令和元年度の調査と比較すると、全国・大阪市との差は開く結果となった。内容別では、「数と計算」「変化と関係」に関しては全国との差は比較的小さく、全国平均の正答率を上回る設問もみられた。質問紙調査「算数の勉強は好きですか」のポイントが低いのにも見られるように、算数に対する苦手意識が強い児童がみられることから経年調査に向けて、基礎学力の充実と、ICTを更に活用した授業改善を図る。

質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に肯定的に答えた児童の割合は大阪市平均を上回った。また「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに「当てはまる」と答えた児童の割合は、全国平均を3ポイント上回った。児童の自尊感情や規範意識は高まっていると考えられる。「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の各質問に対する肯定的に肯定的に答えた児童の割合は、国語が58.5%、算数が57.4%と校内での差はさほどではないが、全国平均と比べると国語はほぼ同じ値であるが、算数は10ポイント開いている。算数でのこの差が、課題としてあげられる。

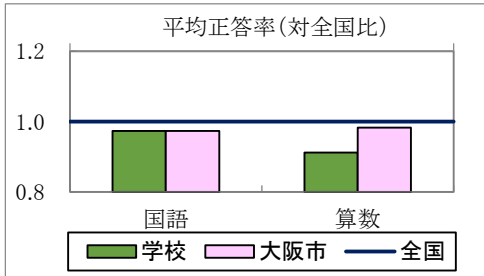
今後の取組(アクションプラン)

コロナ禍以前の取組にもどり、漢字や計算等の基礎学力の定着を図るため、各学年モジュールタイムを計画的に継続、実施する。本年度調査において、算数に課題が残ったことをふまえ、基礎学力の向上とともに、算数科を中心に答えを求める際、どのように考えたのかを自主学習ノートに書いたり、交流・発表したりすることを重視した学習を全学年で行うようにする。また自主学習の活用を推進するために、その際に学んだことを振り返り、新たに疑問になったことを調べてみたりするために自主学習ノートを活用する。今年度の研究主題「一人一台端末の可能性を探る」に合わせICT機器、特に児童の端末を効果的に活用した授業を研究、実践していくことで、学習への興味・関心を高め、進んで学習に取り組む児童を増やしていく。論理的思考を養うため、ロボットや端末をタブレットを活用したプログラミング学習にも取り組む。

【 全体の概要 】

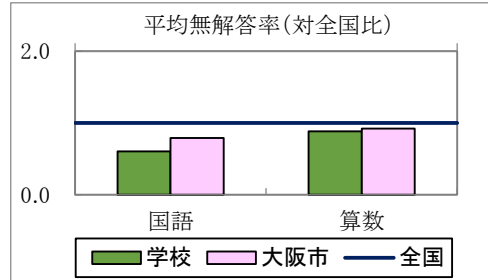
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	63.0	64.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



平均無解答率（％）

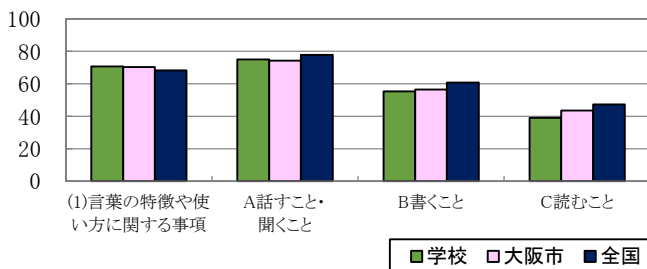
	国語	算数
学校	2.6	2.3
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



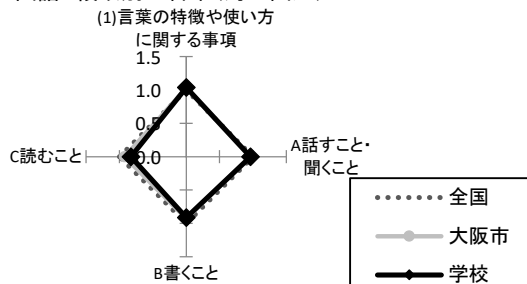
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	6	70.7	70.3	68.3
(2)情報の扱い方に 関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	75.0	74.3	77.8
B 書くこと	2	55.4	56.4	60.7
C 読むこと	3	39.1	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



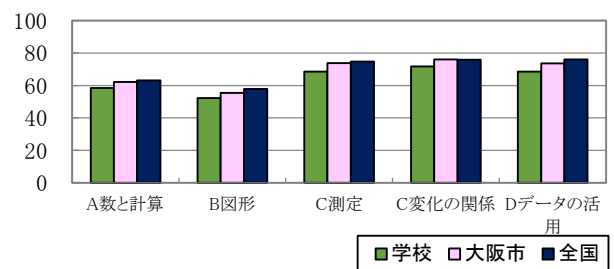
国語 領域別正答率(対全国比)



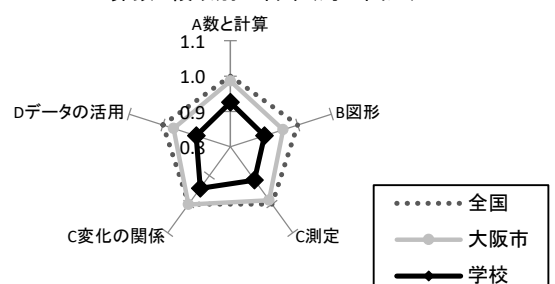
【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	58.4	62.2	63.1
B 図形	3	52.2	55.4	57.9
C 測定	3	68.5	73.8	74.8
C 変化と関係	3	71.7	76.0	75.9
D データの活用	5	68.5	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



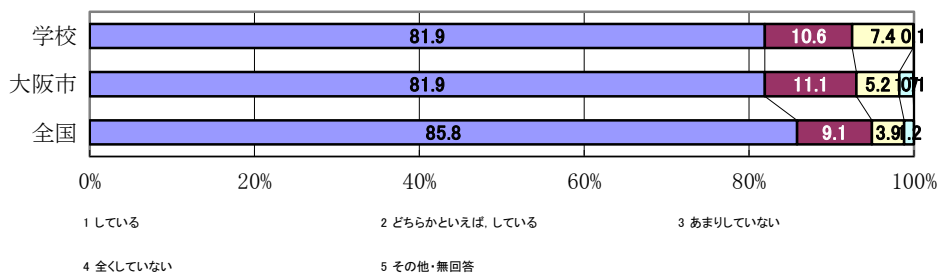
児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

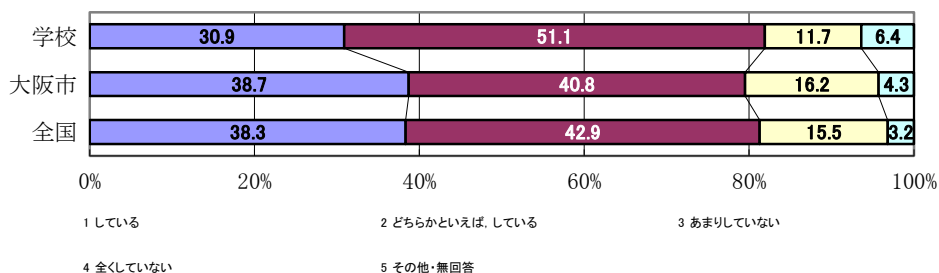
質問事項

朝食を毎日食べていますか



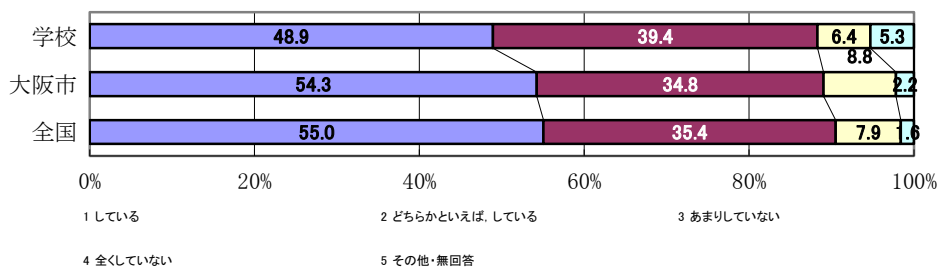
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



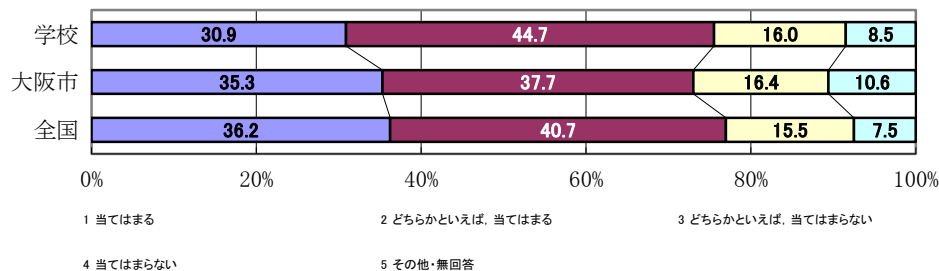
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



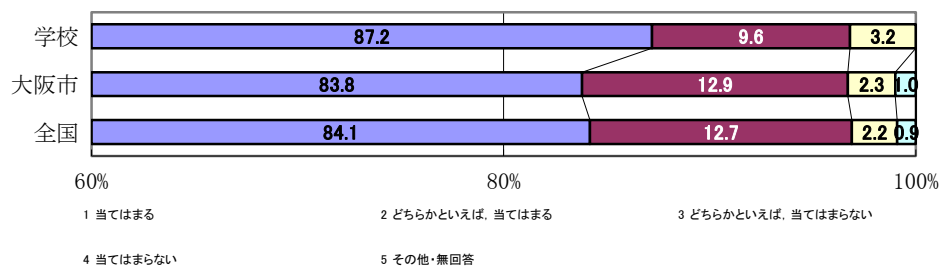
6

自分には、よいところがあると思いますか



11

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



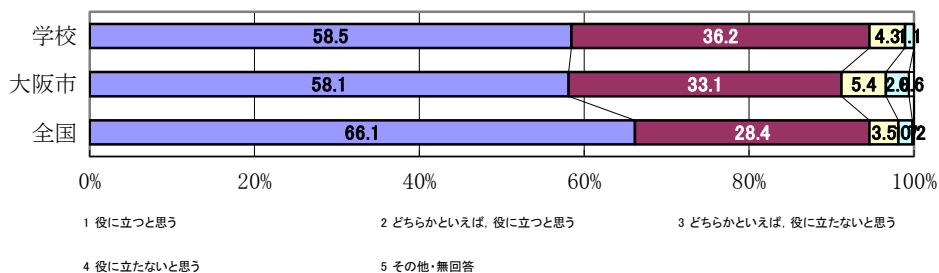
児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

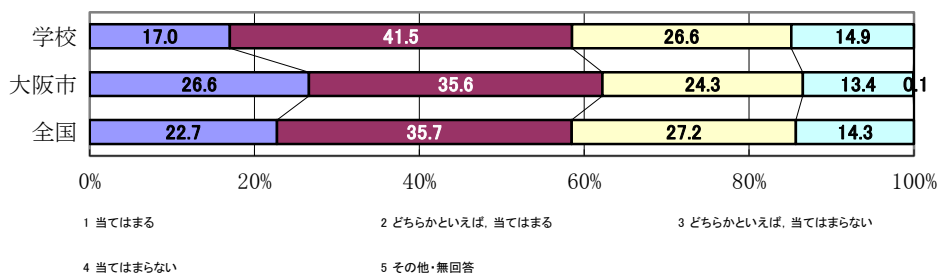
質問事項

学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



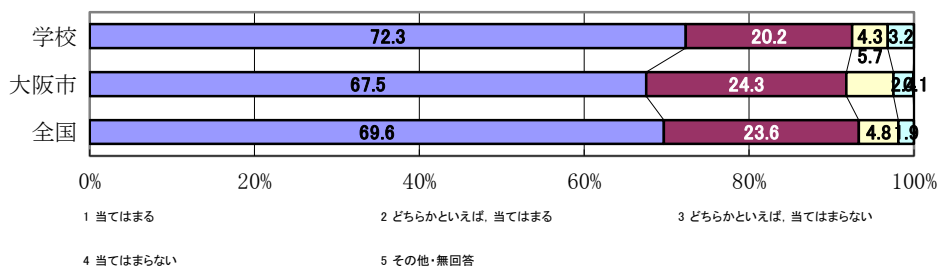
43

国語の勉強は好きですか



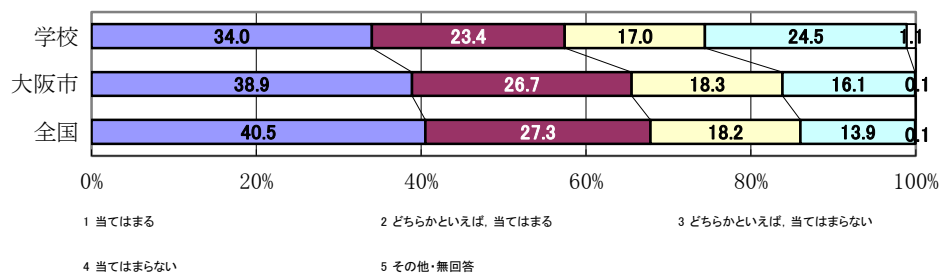
44

国語の勉強は大切だと思いますか



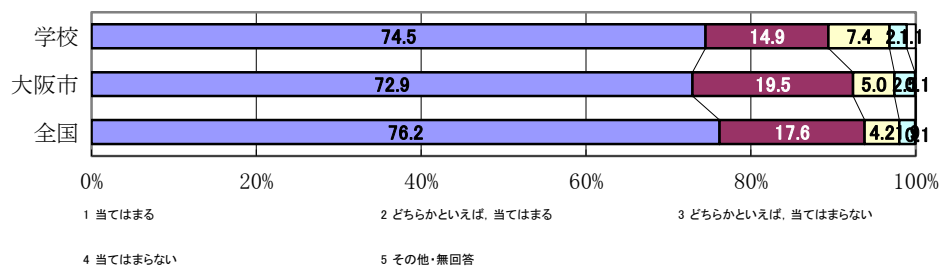
52

算数の勉強は好きですか



53

算数の勉強は大切だと思いますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

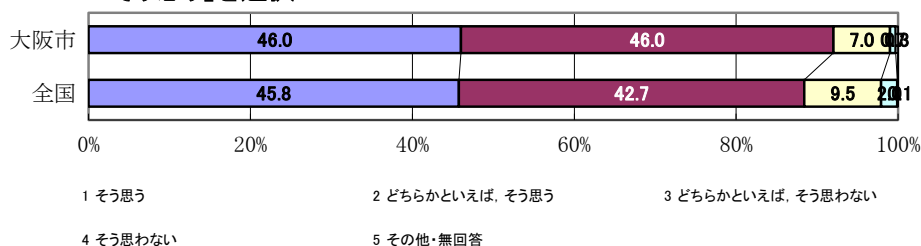
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

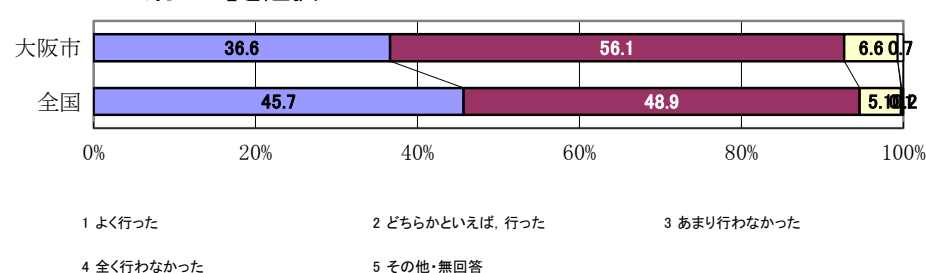
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

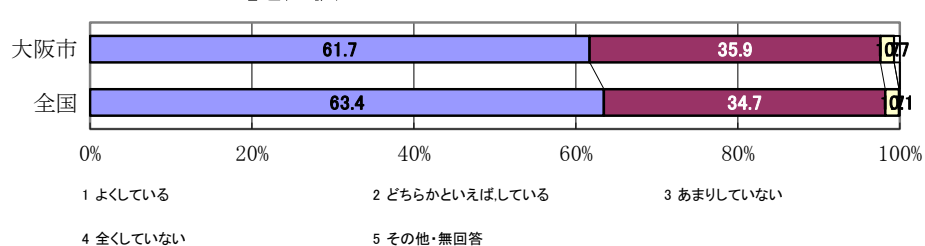
学校 「よく行った」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

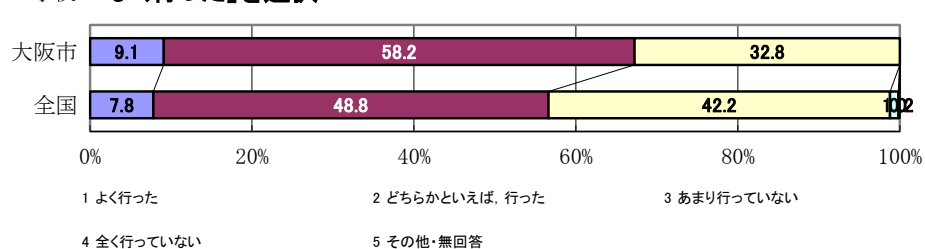
学校 「よくしている」を選択



50

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



66

前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たり、どの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

